

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 【 グループホーム・サラ (評価日：令和7年3月14日) 】

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設理念は全職員がみることができ事務所内に掲示し、毎週月曜日の申し送りにて復唱し、周知が図られているが、一部職員にはまだ浸透しきれていない。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会の催しに参加し、一緒に健康体操を行っている。 町内会と合同で救命救急講習を開催、消防署の方から指導を受けた。しかし、感染症はなくなっているわけではなく、まだまだ日常的な交流となれば先が見えない部分もある。	来年度からは、より交流を強化するため、町内会の行事予定を施設へ届けて頂くこととなる。また、施設側からは交流行事(竿燈、避難訓練等)の案内を町内会長へ報告することとする。 決定事項として、救命救急講習の合同開催とする。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に開催し、実績や行事などの状況報告の他、施設内研修資料を利用し、参加者に研修内容を理解していただいている。参加者が限定的。	参加が必須となっている地域住民の代表や市町村代表者(地域包括支援センター職員)、ご家族はもとより、入居者本人の参加も行っており、参加者が多いことで有意義な場として機能しているのではないか。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主に管理者が市町村担当者と連絡を取り、適正な運営となるよう努めている。生活保護受給者についての報告や書類作成などを行っている。	窓口担当者を決めて対応をしていくことは重要。今後も良好な関係性を築いてほしい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面や動画を利用した勉強会を開催し、知識の向上やサービスの質を上げるよう努力をしている。		Ⓓ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面での資料だけではなく、動画を活用した勉強会の実施は有効と考えられる。引き続き身体拘束をしない施設運営を行ってほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓓ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面や動画を利用した勉強会を開催し、知識の向上やサービスの質を上げるよう努力をしている。		Ⓓ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面での資料だけではなく、動画を活用した勉強会の実施は有効と考えられる。引き続き虐待のない施設運営を行ってほしい。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	制度についての資料を配布し、スタッフが学べる機会を設けている。秋田市権利擁護センターの職員との関わりが持っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は十分な時間を取り、家族の不安や疑問に対し説明し、理解、納得いただけるよう配慮している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来所時はもちろんのこと、必要時は電話やメール等でも連絡を取り、いつでも要望が言える関係性づくりに努めている。定期的に運営推進会議を開催し、家族にも参加していただいている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来所時だけでなく、電話やメールでのやり取りは今の時代にマッチしているのではないかと。今後はラインやその他の方法も検討してみてもどうか。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	随時コミュニケーションをとっている他、毎月のミーティングやフィードバック面接にて個別に話し合いができる場を設けられるよう努めているが、運営には反映しきれていない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一時期職員不足であったが、それ以外は満足できる。 給与ややりがいなど職場環境の整備を行ってくれている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全国的に介護職員の担い手不足も問題となっている中、現状職員が充足している点は非常に評価できる点だと思う。長期で勤める職員が多いことがその裏返しではないか。今後も入居者のためだけでなく、職員のことも考えた施設運営をお願いしたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別指導や施設内外の研修の計画をたて行っている。各委員会の割り当てがあり、内部研修を企画実施している。外部研修の参加は実践者研修、リーダー研修と限定的。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、外部研修を自粛してしまったのは仕方ない。その中で、様々な工夫を凝らしながら内部での研修を企画・実施されている。運営推進会議でも職員が行っている研修と同等のものを紹介してもらい、参加者自身が学ぶ機会となっており感謝している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	交流自体がコロナ渦のため、できていない。相互訪問は自粛した。来年度は相互訪問や秋田市グループ			

		サービスの質を向上させていく取り組みをしている		ホーム協会の研修への参加を増加させていきたいと考えている。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の掃除や食器洗い、洗濯物量など、その人らしい生活が送れるよう配慮している。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出を通じて、これまでのコミュニティを遮断しないよう配慮している。	家族にとどまらず、友人や知人の面会を実施している。今後はより外出の機会を一緒に模索していきたい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無理強いせず、その方にあった一日となるよう、何気ない会話から一人ひとりの希望や意向をくみ取り対応している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングや会議を適宜行い、居室担当職員と計画作成担当者を中心に、それぞれのニーズをくみ取り統一したケアができるよう介護計画へ反映している。	職員同士の話し合いの場が月に1回以上必ず設けられており、ニーズのくみ取りやサービスの反映につながっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室担当者からの意見も話し合いの対象となっている様子。入居者や家族の意見、職員目線の情報など双方向の話し合いとなるように意識してほしい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の変化を個別記録に記載し、申し送りやカンファレンスにて情報共有を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間での情報共有は重要なこと。新しい職員や、その日不在の職員への情報伝達は難しいこと。ラインワークスという新たなツールを使用しており評価できるのではないか。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族の状況において、個別に様々なサービスの提案を行っている。	直近では個別の買い物支援を検討しており、是非実施していきたい。可能な限り新屋勝平地区での買い物実施を検討。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において、介護支援ボランティアの受け入れや、地域交流の場が乏しくなっている。今年度においては、町内会の健康体操に参加した程度とどまっている。地域資源の把握ができていない。	町内会の行事への参加を実施していきたい。(町内会より行事予定を頂戴することとなる。) 地域包括支援センターより、地域のボランティア情報を取り寄せている。今後活用していけるように検討していくこととなる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に希望のかかりつけ医や病院への受診・往診の対応を調整し、納得性のある医療が受けられるよう配慮している。法人内の医療機関を選択される方が多い。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	退院担当職員と病状の把握や今後の見通しについて連携を密に行い、日程調整や必要物品の手配などを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時の情報共有は重要なこと。日程調整の他、必要物品の手配などは家族だけでは大変なことも多い。今後も協力して行ってほしい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や状態変化がみられてきている際にご家族と今後の方向性について相談している。今年は主治医からのコメントを踏まえ、系列施設へ転居した方が複数名いる。もう少し早めの動きを検討してみても良いのではないかと意見もあり。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期の話は家族目線だと、分からないことが多い。入居時や早い段階からの説明はありがたいが、今後どうなっていくのかの想像もできないことがある。情報の共有や説明はより一層丁寧に行ってほしい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルを見やすい場所へ掲示している。職員は応急手当の方法やAEDの使用方法について、消防署員による救命救急講習を受講している。また、施設内の急変時対応についての勉強会を開催し、理解を深めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署員立ち合いによる避難訓練の実施や運営推進会議を通じて、町内会に災害時の協力体制について確認をしている。	定期的な避難訓練の開催の他、災害対策強化の観点から消防署とのより強固な連携の他、町内会の避難訓練への参加を予定している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急避難先の勝平中学校へも要望しているが、災害時使用品の見直しや、消防、警察、地域との連携を強化し、地域一体となつての災害対応の中心となるように検討してほしい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせたケアを行っている。羞恥心の強い入居者には、特に声掛けに仕方に配慮した対応を実施している。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いくら年齢を重ねても羞恥心はある。声かけや些細な部分での配慮は重要。一人の人の人生を支えていることを忘れずに引き続き配慮して欲しい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コミュニケーションを図りながら、本人の希望、ルーティンを情報収集し、可能な限り思いに寄り添った関りとなるよう意識している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員個別メニューとすることは難しいが、準備、片付けを一緒に行いながら、季節を感じて頂けるメニューの提供や、随時行事食を提供し、食の楽しみを感じて頂いている。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	館内掲示写真で食事の様子もみてとれる。外注ではなく自前での食事提供は大変なこともあるだろうが、入居者が一緒に準備、片付けなどをして喜んでくれる様子が感じられる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嚥下状態をタイムリーに確認し食事形態を検討変更している。準備や片付けは入居者と一緒に行い、ADLの維持に努めている。水分摂取量の把握が難しく、今後課題になりうる。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の歯磨き、口腔ケアが確実にできるよう声かけ・見守りを行っている。また、食事前にはうがいをさせていただくことで、口腔清潔を維持できるように配慮している。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアは入居者でもできていないことがある。毎食後の口腔ケアを実施は今後も継続してほしい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の排せつリズムや、些細な行動の変化を観察し、チームで排せつ支援に取り組んでいる。オムツの種類も支援しており意思や人格の尊重を怠らないようにしている。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排せつ支援はデリケートなところ。オムツの勉強会も実施しており、個別支援に向けての方向性が見える。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が気分良く入浴していただけるよう声かけのタイミングに配慮している。また、当日入りたくない并希望した方へは入浴日を変更し対応している。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	快適な寝具類の準備や、快適な居 室環境の整備をご家族とともに支 援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の力量もあるため、服薬時の Wチェックや、内服薬の変更・追加時 は申し送りを行い情報共有を図って いる。不明な点が生じた際は薬局や 医療機関へ TEL にて確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師や医師に直接確認をとり、問題 解消に向けて取り組んでいる様子があ る。 内服薬関係のヒヤリハットがでてい るので、健康面へのフォローの観点から もより安全安心な服薬支援をしてほ しい。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人のニーズの把握に努め、どの ようなことに興味があるのかを掘り下 げて検討している。実績としては、野 菜を育てて調理を一緒にしたり、壁 画を作り、飾り付けを多入居者で行 った。熊騒動もあり、屋外へ出るこ とを警察より制限されていた時期もあ ったが、その分屋内で楽しんでい ただけよう支援した。	具体的な取り組みを報告。入居者一人 ひとりに対して、個別の役割や施設生活 の楽しみ方への支援はまだ不足して いるが、ニーズをくみとり、カンファレンス 等実施しながら、より生活の質を向上し ていけるようサービスを展開していき たい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸 外に出かけられるよう支援に努めてい る。また、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度もコロナ禍により、積極的な 外出は自粛している。その中で、2ユ ニット全入居者そろって由利本荘市 へドライブに行くことができた。また、 ご家族とドライブに行かれた方や、 職員と買い物へ外出できた入居者が 複数名いらっしゃる。	今年度はコロナ禍により積極的な外出 支援はできていないが、感染状況は 徐々に下火となってきているため、今後 は状況を確認しながら外出支援を実施 していく予定。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの希望 や力に応じて、お金を所持したり使 えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理している入居者はいら っしゃらない。出費が必要な際は、 施設で立替えて支払い対応している。 お金を使用する大切さをお金を使 うことだけではない、今後は買い物 支援を検討している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるよう に支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が介入したうえで、手紙や年 賀状のやりとりを行っている。必要 な方には、電話でご家族と会話を いただくことで安心感につながる よう支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節感のある居心地の良い飾り付けを意識している。職員と入居者一緒に掃除を行い、清潔感のある空間づくりに努めている。様々な危険がないようにリスクのあるものは随時撤去し対応している。共有部にソファを設置し、テレビをゆっくり見たり、くつろげるスペースを設けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が作成した壁面がきれいに飾り付けられている。どれも明るい色使いで施設全体の明るい雰囲気が色濃く感じている。ソファや椅子、車いすが各所に置かれており、安全面にも配慮された明るく自由な環境づくりが見てとれる。
----	---------------	--	---	---	--	---	---

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	時間や集団にこだわらず、コミュニケーションを多くとり、自身の思いが表出しやすい雰囲気づくりにつとめており、本人の生活リズムに合わせた暮らしができている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人やご家族からの情報収集をもとに、必要なケア、支援を行っている。友人との面会もできるよう説明し対応している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃よりコミュニケーションを大切に、個別の病状やADLの変化を共有している。また、随時状態や変化を主治医へ報告し、指示を仰ぎ対応している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の観察と系列の医療機関(協力医療機関)との連携は施設の大きな特徴の一つだと思われる。情報共有と早期対応を図っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまで通りの生活とまでは言えないが、サラ・エンでの生活がご自身の思い描く生活に近づくよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ほぼ全ての入居者様が居室になじみのあるものを持ち込んでいただいている。(家族写真、たんす、仏壇、スキンケア商品等)ご家族へは入居契約時に説明、依頼している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室内の装飾や必要物品の準備など、環境整備を家族と一緒にやっている。本人は自宅での生活と遜色なく、安心して穏やかな生活を送るための支援をしている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、外出は自粛していた。状況を踏まえてドライブや町内の催事に参加している。	コロナ禍により外出は自粛している。今後はより積極的な外出支援を検討している。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と一緒にいることで、ストレスの軽減を図っている他、達成感を感じて頂けるように支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓑ. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から習慣としていた家事や散歩、入居後より楽しんでいただいているレク活動を行い、本人の安心感につながるように支援している。今後はこれまで以上にいきいきと過ごしていただくために環境や仕組みを整えていきたい。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	屋外散歩や植物や野菜の育成、食事の準備や片付け、館内の清掃など可能な限り自宅での生活を継続できるように取り組んでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓑ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、積極的な交流が図れておらず、今後交流できる機会を増やしていきたい。	コロナ禍により外出を自粛している。今後は積極的な外出や地域交流を図っていきたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己決定や自立を尊重する関りをもつことで、閉塞感のないよう意識している。入居者が笑顔になるような行事やレクリエーションを企画し、QOL の向上に取り組んでいる。その上で、本人、ご家族より「ここにいると生活が安定し、日々の生活が安心できる」「いつも感謝している、幸せだ」「手作りご飯は最高だ」などとコメントをいただいている。今後も笑顔あふれる施設を目指していきたい。	施設に訪問すると、入居者はいつも穏やかにニコニコと笑っている様子が伺える。平均年齢も上がってきており、それだけ施設での生活に安心感があり、かつ信頼できる運営だと思われる。 病院での治療も重要だが、いかに穏やかに生活できるかも重要。入居者から感謝しているは、自宅生活以上に満足している証。最高の誉め言葉だと思う。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者からの「感謝している」の言葉や、「笑顔があふれている環境」が具体的に見え、入居者や入居者の家族が安心かつ穏やかに生活できている様子が伺える。 個別支援や外出支援などはまだまだ改善の余地があるため、より一層サービスの質の向上を期待したい。